

俳句部門 複数句の部

【佳作】

「石の色」 西野 奏子

春光にまみれてグレーのスーツたち
霾や青きスカート新調す
保管庫の鍵渡されし青葉闇
朝焼に人は重機をうつむかせ
屋台片付いて道路の涼しさよ
サルビアや倉庫にのこぎりつるされて
石の色までなつかしく盆帰省
電車にも街の匂いや今朝の秋
新品の時計を嵌めて行く良夜
初氷ポストに手紙の音響き
割り箸の溝の真っ直ぐ淑気かな
手のひらで満たせり革手袋の赤
流行歌のベースは低し雪解川